

HOW TO LIVE

4th season
2025年7月22日発行



『いかに生きるか』

突然ですが、進路通信のタイトル「HOW TO LIVE」の意味をご存じですか？この通信を始めるとき、生徒一人ひとりの「いかに生きるか」を見守り、お手伝いしようという思いをタイトルに込めたのです。「進路と言えば3年生」と考える人もいるでしょうが、私は1年生の1学期もかなり大事にしています。高校に入学して最初の進路選択、「来年はI型？II型？」を迫られる時だからです。その判断材料にしてほしいと思い、7/8(火)、1年生は丸一日、進路ガイダンスを行いました。

まずはジョブカフェあおもりの方による職業適性検査。タブレットで質問に答えると、自分でも気づかなかった興味・関心、適性が見えてきます。続いてグループで「ライフキャリアすごろく」。自分はどんな選択をするのか、コマが進んだかと思えば戻らされる……人生そのもの。さて、今度は気分を変えて野辺地警察署の方による説明会。鑑識体験では指紋の採取に大苦戦。刑事ドラマのようにはうまくいきません。

ここからは2年生も合流し、38の学校等による説明会。全員必ず4つのブースを訪れることにしたので、「最も興味があるもの」以外の話も聞くことができました。これまで考えたことがなかった道が気になり始めた人もいないのでしょうか？

最後は進路漫才。「進路漫才って何？」と思った時点で我々の負けです。進路漫才に興味を持ってしまったのですから。「オシエルズ」の矢島ノブ雄さん、「かにか」の丸沢丸さんの生き様を聞きながら、自分と重ね合わせて進路を考えた人もいるでしょう。「コミュニケーション能力はなぜ必要？」立場によってその理由も異なりました。「真面目な話を面白く」——進路漫才、我々教員も学ぶことが多くありました。



インターンシップ体験発表会

7/15(火)、2年生によるインターンシップ体験発表会が行われました。実習先では具体的にどのような仕事を体験させてもらったのか、どんなことに気づき、どんなことを学んだのかをまとめ、スライドを用いて発表しました。自分の体験を言語化するだけでも一苦勞。それに加えて、体育館の大きなスクリーンに自分が作成したスライドが映し出され、マイクを用いて発表する緊張感。2年生のみなさん、本当によく頑張りました！お疲れ様でした！

さて、どの発表者も、終盤には1年生に向けてのメッセージを述べてくれました。1年生は来年度、どこでインターンシップをしてみたいのか、どんなことに気づかなければならないのかを知ることができたのではないのでしょうか。

一年生に向けたメッセージ

1. 時間をしっかり守りましょう
2. 作業効率を上げるための工夫を考えましょう
3. 辛いことがあっても乗り越えましょう
4. 明るく笑顔で取り組みましょう
5. 積極的に行動しましょう
6. わからないことがあれば質問しましょう



クイズを取り入れて発表したチームも！



文化祭では、インターンシップの様子や体験発表のスライドの展示も行いました。様々な仕事の様子を知ることができ、写真を見るだけでも楽しめました！

★インターンシップを引き受けてくださった皆様、本当にありがとうございました。

要チェック

3年生を中心に、夏休みにオープンキャンパスや企業見学に出かけようと計画している人も多いと思います。出かける際は、「生徒旅行許可願」という書類の提出をお願いします。

書類は進路指導部から受け取ってください。提出の際には、**担任 → 学年主任 → 進路指導部主任**の順に書類を確認します。(学割が必要な場合は、教頭、校長の確認も必要です。)

△夏季休業中は、教員が対応できる時間(=職員室にいる時間)も様々です。時間に余裕を持って手続きをしましょう。また、前もって担任の先生に声を掛けておくとスムーズです。